

# ～短歌のふるさと広丘原新田～

## <<塩尻短歌館>>

近代短歌を彩った塩尻生まれの歌人らの資料が展示、公開されています。また、10月上旬には全国短歌フォーラム in 塩尻が開催されます。



入館料 大人高校生以上 300円

開館時間 9時～16時30分

休館日 月曜日、祝祭日の翌日、年末年始  
(平成27年7月現在)



★他にも塩尻ゆかりの歌人は沢山います。  
ウォーキングをしながら短歌にも触れてみてはいかがでしょうか。

## おすすめの公園 歩き疲れたら公園で休憩しませんか？

### 広丘短歌公園



広丘短歌公園には、短歌の小道や歌碑などがあり、多くの短歌に触れることができます。また、ベンチもあり、休憩するにも最適です。

## <<塩尻ゆかりの歌人>>

○ 太田水穂 (おおた みずほ・明治9年～昭和30年)

広丘村(現塩尻市広丘原新田)生まれ。明治四十一年上京、大正四年歌誌「潮音(ちょうおん)」を創刊し、歌人、研究者の道を歩む。象徴的観想の作風。「短歌のふるさと塩尻」の中心人物の一人。

○ 島木赤彦 (しまき あかひこ・明治9年～大正15年)

上諏訪町(現諏訪市)生まれ。長野師範卒業後、明治四十二年に広丘尋常高等小学校長として赴任。在職中に広丘歌会(広丘アララギ短歌会)を開き、中原静子らを育成する。歌集に「馬鈴薯(ばれいしょ)の花」等があり、寂寥感(せきりょうかん)の漂う写実的な作風。下諏訪町に赤彦記念館がある。

広丘小学校の時計台の近くには、ユリの木という珍しい木があります。

